

明日香・聖徳通信

令和4年6月16日発行 校長 角田 哲典 第3号

梅雨の季節を迎えアジサイのつぼみが膨らみ、色づき始めました。自然の植物がたくましく伸びゆく様は、私たちに勇気と希望を与えてくれます。草や木の生長にとってなくてはならないのが、雨の日であり、またよく晴れた日です。どちらもちょうど良いバランスで繰り返されるので、幹や枝は大きくなり、葉は勢いよく生い茂ります。もし、雨ばかり降ってあれば、植物は根が腐って育ちません。逆に、晴れの日ばかりでも、水分がなくなって枯れてしまいます。



そう考えると、子どもの成長にも雨と晴れのように相反する働きかけが必要かも知れません。子ども達の成長の中で「雨」や「晴」にあたるのが「やさしさ」と「きびしさ」と思います。子どもたちは生活の中で失敗を繰り返しながら成長していきます。その時、注意されたり、優しく声をかけられたりすることによって的確な判断ができる人になっていきます。「やさしく、きびしく」この繰り返しが、社会の一員として「自覚を持った人」へつながっていくのだと思います。

水泳指導について

今年は3年振りに水泳の授業が始まります。小学校では中学校より一足先にプール開きが行われました。小学校では3年生以下の児童が初めて教科としての水泳指導を受けます。まずは水を怖がらないこと、そして水に体を浮かせる感覚を掴むことができればと思います。泳げなくても水に浮くことができれば、水難事故から身を守ることにもなります。来年度に繋げていくためにも、この夏の間、体で覚えてほしい学習内容です。

中学校では、3年生にとって中学校生活最初で最後の水泳の授業となります。基本的には体育科の指導要領に即して授業を行います。何しろ2年間のブランクがありますので生徒の実態に応じ柔軟に対応します。

幼小中教職員合同研修会開催

今年度、第1回目の幼小中教職員合同研修会を実施しました。日々の教育実践の充実と発展を焦点に当て、「主体的、対話的で深い学びの授業づくり」を研究テーマに取り組んでいるところです。今年11月には、県内・県外の教職員を対象に「あすかの学び」の授業公開を実施する予定です。



今回の合同研修会では幼・小・中の教員がグループに分かれ、公開授業の指導案検討会を行いました。今後も一貫教育の教育目標である「自立した明日香の子」の育成を目指し幼小中の

教職員がワンチームとなり研修を行い、教育活動に活かしていきます。

校外学習・修学旅行実施(中学校)

6月1日、1年生・2年生の校外学習そして3年生の修学旅行を実施しましたが、全学年とも天気にも恵まれ、無事全行程を行うことができました。

校外学習や修学旅行実施にあたって、それぞれの学年の実行委員が中心となって、の意義・めあてをたて、それに基づいての活動でした。葉に目を通すと目標の中にどの学年も「集団活動」についてのフレーズが組み込まれていました。

1年生は、「班活動を通して集団活動の基本を身につける。」2年生は「班活動や宿泊を共にすることを通して、友だちとの絆を深める。」3年生は「班活動の中での各自の役割を自覚し互いに協力し合うことによって望ましい人間関係を形成する。」でした。

集団作りは一朝一夕にできるものではありません。この校外学習や修学旅行を通して得た成果や課題を一つのきっかけとして、さらに学校生活・社会生活の中でも、しなやかな人間関係を構築してほしいと願っています。



(3年生修学旅行(恐竜博物館・東尋坊))



(1年生吉野山)



(2年生琵琶湖カヌー体験)

5年生野外活動について(小学校)

5月末に予定していた5年生の野外活動ですが、宿泊先「国立曽爾青少年自然の家」より、水不足のため宿泊の受け入れを当面の間、見合わせるという連絡があり延期となりました。水不足の原因が取水地から引き上げるポンプの不具合か、漏水なのか判明しておりません。野外活動を楽しみにしていた5年生児童にとって非常に残念なことですが、中止するのではなく延期として対応をします。

実施日: 9月2日(金)~3日(土) 振替休日 9月5日(月)

場所: 国立曽爾青少年自然の家

学校生活における熱中症予防について

先日、文部科学省や県教育委員会より熱中症予防・コロナウイルス感染症対策の通知やガイドラインが発出されました。それを受け学校の児童生徒の学習状況や登下校手段の状況に応じて保護者のみなさまにお知らせをしました。子どもの安全を第一に考え、対応をさせていただきます。ご理解・ご協力をお願いします。詳細は、小中それぞれから出しました文書をご覧ください。